

よりよく生きる

中間発表会 3年2組の授業「独りを慎む」

資料のあらすじ

筆者「私」(向田邦子さん)は、実家を離れ、一人暮らしを始める。そのうちに、行儀にうるさい父の目がなくなったことで、一人暮らしで得た自由がいつの間にか自堕落に変わってしまっていることに気付く。自分の行儀の悪さは、精神の問題だと考えるようになったとき、「独りを慎む」という言葉に出会い、自ら反省し、「独りを慎む」ことの重要性を確認して、自制した生活を送ろうとする。



独りのときに、行儀が悪くなるのはいけないことなのだろうか？

- ・そのことが、友達や大切な人の前など、大事なときに出てしまうものなのでよくない。
- ・独りのときくらいは、気が張って疲れることもあるので、行儀悪くてもよいのではないか。
- ・それでは、自分で行動できなかったり、自立できなくなったりするかもしれない。

「独りを慎む」という言葉が、心に染みたのはなぜだろう？

- ・今までの行動が、自分にとっても、周りから見ても、恥ずかしくなった。
- ・このままでは、自分の子供にきちんと教育することができない。
- ・自分の未来を想像したとき、このままではまずいと思った。
- ・今の生活には、メリハリがないから、やるときはきちんとやるようにしよう。
- ・今の生活では、自信を持って家族に会うことができないから、父親の教えを守ろう。

自分をコントロールする力を身に付けるにはどうしたらよいか？

- ・自分の課題は、勉強をしなくてはいけないと分かっているけれど、体が動かない。やらなければならぬことを後回しにしてしまう。スマホやゲームなどの自分の好きなことだけをしてしまうことが挙げられます。これらを改善するために、何から始めればよいか、自分で理解する。自分の生活を見直して整える。目標などを立てて、モチベーションを上げる。思ったらすぐに行動する。やるときはやって、休むときはしっかり休むことなどが大切だと思います。

【授業者（米田実樹先生）より】

今日の道徳でみんなが語った言葉から、"自分の選択が自分をつくる"という大事な気付きが見えた気がして、とても嬉しかったです。中3のこの時期、やらないといけないと分かっていても動けないこともあると思います。そんな自分に苦しくなる瞬間もあると思います。でも私は、それは弱さじゃなくて“成長の途中”なのかなと思っています。今日の学びが、「小さな一歩でも、自分のためになる」そんな前向きな気持ちにつながっていたらいいなと心から思っています。これからも一緒に考えながら成長していきましょう！